

9/14 コロナ禍で中止 5年遅れの成人式

令和7年度 鶴田町「二十五歳の集い」

町国際交流会館で、コロナ禍で成人式が中止となった2020年度の新成人を対象に「二十五歳の集い」が開催されました。

この日、会場には華やかな衣装やスーツを着た52人が参加し、久しぶりの再会を喜び、互いの近況を語り合っていました。式典では相川町長が「困難な時期を乗り越え、自分の道を進んできた皆さんには、言い尽くせない努力と成長があった」と式辞を述べました。

式典後には同窓会が開催され、食事を囲みながら思い出話に花を咲かせていました。



集合写真を撮る参加者たち



収穫体験を楽しんだ園児たち

9/18 秋の恵みを園児たちが味わう

観光ぶどう園 収穫体験

こども園つるのこの園児たち観光ぶどう園に招かれ、旬を迎えたスチューベンの収穫体験を行いました。

収穫体験は成田義弘さんの園地で行われました。園児たちは成田さんから収穫方法を教わり、枝からぶら下がったスチューベンの房を片手で持ちながら、はさみを使って慎重に収穫していました。収穫体験を終えた園児たちはその場でもぎたてのスチューベンを味わい、甘さに感動していました。

成田さんによると今年のスチューベンは夏の暑さや雨の降り方から、糖度がより高く仕上がったそうです。

9/19 自分たちで植えた稲の脱穀に挑戦

鶴田小学校6年生 米作り体験（脱穀）

鶴田小学校6年生が小学校駐車場で昔ながらの道具を使って、自分たちで育てた稲の脱穀に挑戦しました。

米作り体験を通し、米の良さや大切さを知ってもらうため町学校運営協議会が企画。今回脱穀するのは児童たちが6月に自分たちの手で田植えをした「あかりもち」の稲です。脱穀には歴文化伝承館で展示されている足踏み式の脱穀機を使い、子どもたちは脱穀機の歯の隙間に稲穂の束を入れて機械を回転させながら、穂先からもみを取り分けていました。慣れない作業に苦戦しながらリズムよく足踏みをして、機械を動かしていました。



足踏み式の脱穀機を使う小学生たち

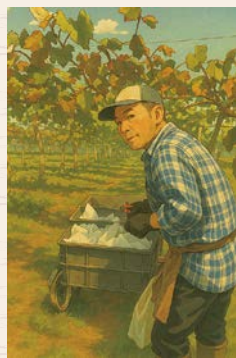


Vol.94 (筆: 葛西 忍)

暑かった夏がようやく終わり、いよいよ収穫の時期を迎えました。この駄文が掲載されるときには無事収穫を終えているはず！

さて、ジブリのプロデューサー鈴木敏夫氏は、仕事の流儀を仕事に「祭り」に変えることと語っています。日々の業務を単なる仕事ではなく、皆で盛り上がり、一体感を持って取り組む「お祭り」のようすることで、自然と活気と創造性が生まれるという考え方で。

これは農作業にも共通すると思っています。特に「収穫」については1年間の作業の集大成。「祭り」濃度高めです。この「収穫」という祭りをいかに楽しみながらできるか、作業を単なる作業としてではなく、皆で盛り上がり、一体感を持って取り組む「お祭り」のようして活気と創造性を生み出せるか。先ず臆より始めよ、ということで歌い踊りながら収穫しています。



▲スチューベンを収穫する葛西さんのジブリ風イラスト



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



要救助者に浮き輪を投げる隊員

9/26 観光客を水難事故から救う 鶴田消防署水難救助訓練

鶴田消防署が廻堰大溜池で水難救助訓練を行い、水難救助事案発生時の救出方法や資器材の取り扱いを確認しました。

鶴田消防署では定期的に水難救助訓練を行い、技術の向上に努めています。今回は観光客がため池に落ちたことを想定。潜水士の資格を持った水難救助隊員が一般隊員を指導し、救命ボートを使用し、要救助者に近づき意識があるかを確認し、その状況にあった救助法を訓練していました。

水難事故救助は、装備がない状態では訓練を受けた人でも危険です。事故発見時は水に入らずに通報し、浮き輪などの浮力のあるものを要救助者に投げて渡してください。

第33回青森県民駅伝競走大会

9月7日（日）、第33回青森県民駅伝競走大会が青森市内で開催され、県内40市町村のランナーが健脚を競い合いました。

鶴田町からは、下記の9名の選手が出場しました。選手たちは日頃から鍛え上げてた健脚でたすきをつなぎ、県観光物産館アスパムからカクヒログループアスレチックスタジアムまで9区間26.1kmのコースを走りきりました。鶴田町の最終順位は町の部で14位でした。

総合タイム：1時間37分02秒 町の部 14位

区間・距離	氏名
第1区 3.8km 男子（中学生）	棟方 二幹
第2区 1.1km 男子（小学生）	工藤 陸
第3区 1.1km 女子（小学生）	坂田 優杏
第4区 5.0km 男子（高校生以上）	福田 歩
第5区 3.4km 女子（中学生以上）	棟方 怜良
第6区 3.1km 男子（中学生 or 35歳以上）	相馬 新大
第7区 4.4km 男子（高校生以上）	松江 伶恩
第8区 1.7km 女子（中学生以上）	長内 百桜
第9区 2.5km 男子（中学生）	棟方 慎



地域おこし協力隊通信 Vol.95（筆：毛利精悟）

【1】鶴田町上空からの素晴らしい景色を空から楽しみませんか

10月25日（土）・26日（日）午前6時～午前9時、ツルタラボのグラウンドで【熱気球係留搭乗体験】を開催します。ロープでつながれた気球が上空30mほどの高さまで上がります。ご年配者からお子さんまで多くの方に楽しんでいただければ嬉しいです。（事前予約制。定員に達した時はお許しを）

■問：ポスターチラシのQRコードが☎080-3191-7572まで

【2】有楽町で【あおり移住フェア】に参加します

10月19日（日）東京・有楽町「東京交通会館」で開催されるフェアに参加します！県内から33の市町村が参加して行われる大きな移住イベントです。現役協力隊もこのフェアがきっかけで移住を決めたというご家族がいるという大切なイベント。首都圏にお住まいのお知り合いにぜひお知らせください！



1Fでは物産展も。毛利は1・2F担当



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。